

パブリック・コメント結果の公表について

令和5年3月15日
玉名市建設部都市整備課

政策案の名称：「玉名市都市計画マスタープラン」見直し（素案）について
募集期間：令和5年1月16日から令和5年2月16日まで

この度は意見募集を行った上記の案件につきまして、ご意見をいただき、誠にありがとうございました。お寄せいただいたご意見の概要、意見に対する市の考え方、政策案の修正内容につきまして、下記のとおり公表いたします。

ページ 番号	ご意見の概要	意見に対する市の考え方	計画案修正対応
49 ページ	<p>主要課題4 自然と共存した都市づくりが求められています。 本市は、小岱山、金峰山系の山々や、菊池川、有明海などの豊かな自然に恵まれています。今後も、そのような豊かな自然環境を保全していけるように、自然と共存した都市づくりが求められています。</p> <p>ここから意見です。 「豊かな自然」とは、ありとあらゆる生き物の集合体です。しかしながら、生き物についての言及がありません。自然と共存ということは、玉名市に住んでいる生き物たちを大切にすることです（外来種はのぞく）このことを、ここに明記してほしい。 特に、忘れ去られるのが平野部です。ここの水路には三方張りにした水路では絶対に生育できないいきものたちがいます。人間の便利性だけでいきものすみかを奪っていいはずがありません。その考えを市民にわかってもらうためにはここにその生き物という語句が絶対に必要です。 <u>玉名市に住んでいる生き物たちを大切にすることがわかる文言を加えてください。</u></p> <p>人と自然がかがやくところをしっかりと確立する為にもおねがいします。</p>	<p>ご意見をいただいたとおり、本市が基本方針として掲げる「自然と共存した都市づくり」には、そこに生息する生き物、そして多様な生態系も、豊かな自然を構成するものの一つとして含まれますので、より明確にするため、左記のとおり追記いたします。</p>	<p>本編 P. 50（主要課題4）、P. 51（都市づくりの理念）、P. 54（基本方針4）で対応 ⇒本市は、小岱山、金峰山系の山々や、菊池川、有明海、そこに生息する多様な生態系などの豊かな自然環境に恵まれています。</p> <p>概要版 P. 2 で対応 ⇒同上</p>

24 ページ	<p>文章がおかしいところ</p> <p>「本市の上水道の給水区域は、<u>平野部においてはほぼ全域をカバーしている状況</u>にあります。」</p> <p>この語句は嘘ではないか横島干拓は全く上水道が設置されていない。干拓は平野部ではないのか。また、逆に岱明の干拓地域は平野部になっている。「平野部においてはほぼ全域をカバーしている」という文言はおかしい。</p>	<p>ご意見のとおり、平野部でも都市計画区域ではない横島地区・天水地区においては、上水道の給水区域に含まれていない地域があります。山林を除く都市計画区域内においては、ほぼ全域が給水区域となっておりますので、左記のとおり修正します。</p>	<p>本編 P. 23、P. 48 で対応 ⇒給水区域は、都市計画区域においてはほぼ全域をカバーしている</p>
26 ページ	<p>「本市は1市3町が合併した都市であるため、玉名地区、岱明地区、横島地区、天水地区それぞれに行政施設や教育施設、文化施設など主要な公共公益施設がみられます。」</p> <p>「みられます」ではなく、「あります」です。自治体として主体的に建造されたものです。ですから「あります」です。</p>	<p>公共公益施設には、市が建設したものだけでなく、市が建設したもの以外でも、地域の公益上必要な施設が含まれます。</p> <p>表現としては、左記のとおり修正します。</p>	<p>本編 P. 25 で対応 ⇒「あります」に修正</p>